

2025年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月15日

上場会社名 and factory 株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7035 URL <https://andfactory.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 倫治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 蓮見 朋樹 (TEL) 03-6712-7646
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第3四半期の連結業績(2024年9月1日～2025年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第3四半期	2,418	—	△169	—	△170	—	△172	—
2024年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年8月期第3四半期 △167百万円(— %) 2024年8月期第3四半期 —百万円(— %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第3四半期	△15.31	—
2024年8月期第3四半期	—	—

(注) 1. 2025年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2. 当社は、2025年8月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年8月期第3四半期の数値及び対前年四半期増減率並びに2025年8月期第3四半期の対前年四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第3四半期	2,125	1,046	49.2
2024年8月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2025年8月期第3四半期 1,045百万円 2024年8月期 —百万円

(注) 当社は、2025年8月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年8月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年8月期	—	0.00	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日～2025年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	—	△310	—	△310	—	△380	—	△33.74

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2. 当社は、2025年8月期第1四半期より連結決算に移行しました。2024年8月期は連結決算を行っていないため、「対前期増減率」については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社(社名) 株式会社サウスワークス、除外 1社(社名) -

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年8月期3Q	11,261,970株	2024年8月期	11,261,970株
2025年8月期3Q	277株	2024年8月期	257株
2025年8月期3Q	11,261,696株	2024年8月期3Q	11,261,713株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結範囲の重要な変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度との比較分析は行っておりません。

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループの主要な事業領域である電子書籍市場については、2022年度の市場規模は6,026億円であり、そのうちコミックが占める割合は86.3%、2023年度の市場規模は6,449億円と前年度から7.0%増加し、そのうちコミックが占める割合も87.6%の5,647億円と市場全体としては伸びていますが、成長率は2022年度に続いて2023年度も一桁%となり、市場は成熟期に移行しているといえます。

また、2024年度の成長率は5%程度となるとみられ、今後も緩やかに拡大基調で、2028年度までの年平均成長率は4.5%、市場規模は8,000億円程度になると予測されます。（インプレス総合研究所の「電子書籍ビジネス調査報告書2024」より）

このような環境の中、当社グループは、「日常に&を届ける」をミッションとして掲げ、中核事業となるAPP事業において、主に大手出版社と共同開発したスマートフォン向けのマンガアプリの収益拡大に注力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間において、APP事業の主力事業であるマンガ事業では、2024年10月にデジタルカタパルト株式会社から事業譲受した電子書籍ストア「ソク読み」のサービス開始により課金売上が増加した一方で、マンガアプリにおける追加機能等の受託開発案件が減少した影響により、売上高は前年同期を下回りました。なお、エンタメ事業では占い事業が好調に推移し売上高が伸長しましたが、APP事業全体で売上高及び営業利益共に前年同期を下回って着地となりました。

RET事業においては、円安の影響により外国籍の宿泊者数が好調に推移し、「& HOSTEL」の稼働率は高水準を維持、宿泊売上は堅調に推移しました。また、不動産アドバイザリー報酬および宿泊物件の売買仲介手数料による売上も収受し、売上に寄与しました。一方で、前第3四半期累計期間は「& HOSTEL」の開発用に購入し保有していた物件を売却した影響で、売上高は前年同期を大きく下回りました。ただし、当該期間においては売却に伴う評価損により営業損失を計上していたため、当第3四半期連結累計期間における営業利益は前年同期を上回って着地しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,418,168千円、営業損失169,666千円、経常損失170,111千円、親会社株主に帰属する四半期純損失172,402千円となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① APP事業

当第3四半期連結累計期間において、新規連結した株式会社サウスワークス、事業譲受した「ソク読み」課金売上、占い事業の「星ひとみの占い」「uraraca電話占い」がAPP事業の売上増加に寄与しました。

一方で、既存のマンガアプリおよびWEBサービスには、人気作品の完結による連載終了の影響を受け、MAU（注1）が減少したが、人気作品のメディア化およびオリジナル作品の販売が好調なことから課金ARPUならびに広告ARPU（注2）はともに伸長しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるAPP事業の売上高は2,310,598千円、セグメント利益は58,327千円となりました。

（注）1. Monthly Active Userの略称であり、1ヶ月に一度でもアプリを利用したユーザーの数を指します。

2. Average Revenue Per Userの略称であり、ユーザー一人当たりの収益単価であります。

当社のAPP事業において運営するスマートフォンアプリのうち、「マンガアプリ」の四半期毎の平均MAU数の推移は下表のとおりであります。

(単位：万人)

年月	平均MAU数	年月	平均MAU数
2018年5月末	204	2022年2月末	1,044
2018年8月末	238	2022年5月末	1,121
2018年11月末	279	2022年8月末	1,152
2019年2月末	362	2022年11月末	1,129
2019年5月末	430	2023年2月末	1,105
2019年8月末	532	2023年5月末	1,140
2019年11月末	641	2023年8月末	1,161
2020年2月末	720	2023年11月末	1,126
2020年5月末	906	2024年2月末	972
2020年8月末	994	2024年5月末	971
2020年11月末	1,026	2024年8月末	943
2021年2月末	1,054	2024年11月末	905
2021年5月末	1,056	2025年2月末	899
2021年8月末	1,101	2025年5月末	887
2021年11月末	1,046		

(注) 上記の平均MAU数は、各四半期における平均値を記載しております。

② RET事業

当第3四半期連結累計期間において、円安の影響により外国籍の宿泊者数が好調に推移しており「&AND HOSTEL」の稼働率は引き続き高水準を維持し宿泊売上は堅調に推移しました。不動産アドバイザー報酬および宿泊物件の売買仲介手数料による売上も収受し、売上および利益に寄与しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるRET事業の売上高は90,469千円、セグメント利益は26,941千円となりました。

③ その他事業

主にマンガのIPを広告等に活用する事業であります。

当第3四半期連結累計期間におけるその他事業の売上高は17,100千円、セグメント損失は5,948千円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,125,399千円となりました。主な内訳は、現金及び預金1,026,002千円、売掛金478,160千円、立替金149,062千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,078,771千円となりました。主な内訳は、未払金470,090千円、長期借入金244,885千円、買掛金165,191千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,046,628千円となりました。主な内訳は、資本金801,818千円、資本剰余金800,460千円、利益剰余金△560,472千円であります。

なお、自己資本比率は49.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年4月14日に公表した通期連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,026,002
売掛金	478,160
仕掛品	17,228
立替金	149,062
未収消費税等	57,858
その他	188,946
貸倒引当金	△36,183
流動資産合計	1,881,076
固定資産	
有形固定資産	
建物	21,522
工具、器具及び備品	91,294
減価償却累計額	△71,008
有形固定資産合計	41,808
無形固定資産	
ソフトウェア	25,665
ソフトウェア仮勘定	166
のれん	41,312
無形固定資産合計	67,144
投資その他の資産	
投資有価証券	45,902
長期貸付金	30,000
敷金及び保証金	53,419
その他	6,048
投資その他の資産合計	135,370
固定資産合計	244,322
資産合計	2,125,399

(単位：千円)

当第 3 四半期連結会計期間
(2025年 5 月 31 日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	165,191
短期借入金	105,000
1年内返済予定の長期借入金	29,918
未払金	470,090
未払法人税等	6,389
賞与引当金	1,058
その他	54,559
流動負債合計	832,206
固定負債	
長期借入金	244,885
繰延税金負債	1,680
固定負債合計	246,565
負債合計	1,078,771
純資産の部	
株主資本	
資本金	801,818
資本剰余金	800,460
利益剰余金	△560,472
自己株式	△578
株主資本合計	1,041,227
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	3,806
その他の包括利益累計額合計	3,806
新株予約権	2,585
非支配株主持分	△991
純資産合計	1,046,628
負債純資産合計	2,125,399

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)	
当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	
売上高	2,418,168
売上原価	1,351,195
売上総利益	1,066,973
販売費及び一般管理費	1,236,639
営業損失(△)	△169,666
営業外収益	
受取利息	800
補助金収入	3,681
受取補償金	724
その他	911
営業外収益合計	6,118
営業外費用	
支払利息	5,291
為替差損	923
その他	348
営業外費用合計	6,563
経常損失(△)	△170,111
特別利益	
受取保険金	2,712
収益の計算方法の変更に伴う利益	※ 28,135
特別利益合計	30,848
特別損失	
減損損失	5,591
固定資産除却損	22,099
投資有価証券評価損	3,003
特別損失合計	30,695
税金等調整前四半期純損失(△)	△169,958
法人税等	1,785
四半期純損失(△)	△171,744
非支配株主に帰属する四半期純利益	658
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△172,402

四半期連結包括利益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第 3 四半期連結累計期間 (自 2024年 9 月 1 日 至 2025年 5 月31日)	
四半期純損失 (△)	△171,744
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	3,806
その他の包括利益合計	3,806
四半期包括利益	△167,937
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△168,596
非支配株主に係る四半期包括利益	658

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、株式会社サウスワークスの株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を、第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 収益の計算方法の変更に伴う利益

当第3四半期連結累計期間において、APPセグメントの一部取引先との間で、取引先からの要請に基づき当社の広告収益の計算方法を見直す事に合意した為、収益の計算方法の変更に伴う利益28百万円を特別利益に計上しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	APP事業	RET事業	計		
売上高					
マンガ	1,571,479	—	1,571,479	—	1,571,479
占い	657,089	—	657,089	—	657,089
&AND HOSTEL	—	31,956	31,956	—	31,956
不動産関連	—	58,476	58,476	—	58,476
その他	82,030	—	82,030	17,100	99,130
顧客との契約から生じる収益	2,310,598	90,432	2,401,031	17,100	2,418,131
その他の収益	—	36	36	—	36
外部顧客への売上高	2,310,598	90,469	2,401,068	17,100	2,418,168
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,310,598	90,469	2,401,068	17,100	2,418,168
セグメント利益又は損失(△)	58,327	26,941	85,268	△5,948	79,320

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にマンガのIPを広告等に活用する事業であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	金額
報告セグメント計	2,401,068
「その他」の区分の売上高	17,100
四半期連結損益計算書の売上高	2,418,168

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	85,268
「その他」の区分の損失(△)	△5,948
全社費用(注)	△248,986
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△169,666

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントの変更等に関する情報

当社は、株式会社サウスワークスの株式を取得し、同社を新たに連結の範囲に含め、「APP事業」の報告セグメントに追加しております。

なお、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前第3四半期連結累計期間に係るセグメント情報は記載しておりません。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「APP事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は5,591千円です。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社サウスワークスの株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、「APP事業」において、のれんが41,312千円増加しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	21,994千円
のれんの償却額	7,798千円